

一般質問

6月15日から19日の5日間にわたり、34名の議員が市政を取り巻く諸問題について、意見・提案を交えながら、市長などの考えをたしました。質問、答弁の要旨は次のとおりです。
※議長と副議長は、町田市議会では一般質問を行わないことになっています。

各議員のタイトル下から一般質問の録画映像にアクセスできます。
※動画の再生には別途通信料がかかる場合があります。



介護、学校統廃 合、まちづくり

大野まこと(日本共産党)
〇 老老介護の実態を把握し、市の財政支援で介護人材確保のための待遇改善を。
〇 いきいき生活部長 都は居住支援特別手当事業、宿舍借上支援事業を実施しています。市では、活用を促す周知に努めているところで、独自の支援を行う考えはありません。
〇 住民合意のない小山田小学校と小山田南小学校の統合は中止すべき。
〇 学校教育部長 引き続き、様々な立場の方々にお話を伺い、丁寧に進めていきたい。
〇 渋滞解消、信号設置など小山田、小山ヶ丘のまちづくりをどう進めるか。
〇 道路部長 渋滞については、引き続き、関係者間で対策の検討や実施、検証などを行っています。信号機の設置について、市としてできることは、地元からの設置要望を警視庁に申し伝えることです。



災害対策・子ども の熱中症対策

松葉ひろみ(公明党)
〇 災害時のために、市庁舎のエレベーターに簡易トイレや飲料水を備蓄した「防災キャビネット」を設置しては。
〇 財務部長 有効性は認識しているところです。設置については検討を進めていきます。
〇 八王子市の動向も踏まえ、民有地擁壁改修への補助制度を検討してはどうか。
〇 都市整備担当部長 八王子を含めて、ほか自治体の動向を注視していきます。また、国や都を含め補助制度に関する資料収集を行っていきます。
〇 学校に、ネッククーラーを冷やす冷凍庫や冷水器の設置を検討しては。
〇 学校教育部長 冷水器は、新たに整備する学校において計2か所に設置を予定しています。冷凍庫は、先行して取り組んでいる他自治体において、設置費用、効果等の詳細を早めに把握していきます。



健康／里山 ヘルス／縄文

ふじた 学(諸派)
〇 「治す医療」から「支える医療」へ。心と体の健康まちづくりのビジョンは。
〇 市長 健康に向かう一人一人の自発的な意思と行動をみながら見守りこれまで以上に心と体の健康を支え合えるまちづくりを進めてまいります。
〇 北部丘陵小山田エリアで、地域や民間事業者と連携して、「ワンヘルスの森」町田里山モデルの構築を。
〇 北部・農政担当部長 20年度に基本構想を策定しました。26年度に実施する実証実験イベントは、基本構想に基づいて、里山に関わっていただきたい方々にも参画していただき計画を立案し、実行予定です。
〇 町田の誇る考古(縄文)資料を未来と世界へ紡ぐ。
〇 生涯学習部長 まっくろを活用した取組を進めており、今後も、考古資料の市内外への情報発信に努めていきます。



子どもの心 に寄り添う市政を

細野龍子(日本共産党)
〇 ナフサ由来製品の不足で影響を受ける事業所への緊急支援を求めるがどうか。
〇 経済観光部長 現在、国の臨時交付金を活用した給付金を交付する事業を実施しています。今後については、国や都の動向を注視していきます。
〇 都制度を活用して、食事も提供できる中高生の居場所を設置すべきがどうか。
〇 子ども生活部長 都制度の詳細はまだ示されていません。しかしながら、既に子どもセンターが居場所としての役割を担っていることから本制度の活用は考えていません。
〇 せりがや会館の廃止によって、活動を中止する団体が出ないよう、支援すべきがどうか。
〇 地域福祉部長 引き続き、各団体とはより緊密にコミュニケーションを取りながら、支援の方法を考えていきたい。



武道を学べる 代替施設の確保

吉田つとむ(無所属)
〇 町田市立総合体育館の改修工事で施設が長期間使えない状態になるが、畳の部屋や武道場は他にない、その代替場所や手段はどのように考えているか。
〇 文化スポーツ振興部長 まずは関係団体等に利用状況を伺いながら、大会開催や日常使いなどの条件も含めて、よく整理をして柔軟に会場、代替施設の確保については努めていきたいと思っています。
〇 中核市の災害相互応援協定のチーム編成が遠隔地の都市相互で構成されているが、非中核市の町田市の体制は。
〇 防災安全部長 市が締結している協定では、直接相互に応援と支援が可能で、迅速かつ円滑に対応できると認識しています。いろいろと都道府県から要請が来ますので、どういう形になるか吟味し、派遣制度にのっとっていきたい。



平和教育・国家 情報・不登校

渡辺さとし(まちだみらい)
〇 「教育の推進」を掲げる市長の平和教育・学習についての認識は。
〇 市長 平和教育や平和学習を継続的に言い、戦争の悲惨さを語り継いで、失われた命の貴さと平和の大切さを次世代へ継承していくことは非常に重要だと考えております。
〇 学校に行きづらいと感じている不登校児童生徒数の現状と市の政策の相関をどのようにつまみか。
〇 教育長 25年度は24年度に比べ、小学生23人、中学生が106人減少しました。学びの場の確保に取り組んだ成果が現れていると考えています。
〇 国家情報局からの求めにに応じて、市は市民の個人情報を提供することがあるのか。
〇 総務部長 市民の権利、利益の保護と公益性の観点から、保有個人情報報告を法令に基づき厳格に取り扱っていきます。



学校の図書 指導員の 待遇改善を！

うつのみや ゆみこ(諸派)
〇 町田市の学校図書指導員制度を見直し、学校司書を配置すべきではないか。
〇 指導室長 図書指導員に無理なく、意欲を持って継続していただけるよう、適正な活動内容や活動時間について各学校に周知していきます。学校司書は、必要な人材を安定的に確保していくことは容易ではないと考えています。
〇 町内会・自治会の加入促進に向けた行政の支援は。
〇 市民部長 加入促進策として広報まちだや市ホームページによる呼びかけ、チラシの配付のほか、まちカフェ！など、様々な機会を捉えて加入の呼びかけを行っています。
〇 町田市の駅周辺のごみのポイ捨て対策について。
〇 環境資源部長 条例に基づき、5つの駅周辺を美化推進重点区域に指定し、美化推進員が巡回啓発を行っています。



もつと笑顔 あるまちづくり

前田 莉那(無所属)
〇 ベビーシッター利用支援事業について導入する考えはあるか。
〇 子ども生活部長 他自治体の状況、サービスの提供体制などを改めて確認するとともに、次年度以降の保育ニーズに対する受皿の確保状況などを踏まえ研究していきます。
〇 町田市立国際版画美術館の文化的価値とは。
〇 堀副市長 見る、作る、発



訪問医療・介護 従事者処遇改善

森じゅん子(公明党)
〇 医療と介護の連携支援センターは、どのような支援を行い、関係機関との連携強化に取り組んでいるのか。
〇 いきいき生活部長 専門的な助言など、後方支援の役割を担っています。市民等から寄せられる相談に幅広く対応することで、地域医療と介護の連携強化を図っています。
〇 介護職員における人材不足の現状認識は。
〇 いきいき生活部長 調査の職員確保の状況に関する設問に、常時確保できている、ほぼ確保できていると回答した事業所は46・7%にとどまっています。介護人材の確保は重要な課題と認識しています。
〇 医療・介護従事者へのカスタマーハラスメントに対する町田市の取組は。
〇 いきいき生活部長 現在は、専門職の皆様には都の相談窓口をご案内しています。



鶴川駅 ・家賃 ・急行停車

はせがわ 圭亮(無所属)
〇 長年、市として鶴川駅急行停車を求める声に対し、鉄道事業者にどのような要望をしてきたのか。
〇 都市づくり部長 鶴川駅の急行停車のほか、ホームドア整備や踏切解消等、様々な要望を小田急電鉄株式会社にに対し、速やかに伝えてきました。
〇 町田リス園のリニューアルについて、運営法人や保護者から合意が得られているのか。
〇 経済観光部長 25年6月に、運営法人から、指定管理者制度導入等について現時点では同意できない旨の意見書が提出されました。現在に至るまで、合意は得られていません。
〇 市内団地における若者向け家賃支援の取組は。
〇 都市づくり部長 JKK東京では割引制度を設け、該当団地の対象期間内に毎月の家賃が20%割引されるものです。



リニア／ 読書 ／読書

小野寺まなぶ(公明党)
〇 小山地区とリニア新駅が開業する橋本駅周辺を結ぶ道路網について、交通ネットワークの強化が課題であるが、機会や親子で楽しく過ごす時間と場所を提供しています。
〇 堀副市長 小山の魅力を最大限に引き出すとともに、相模原市が進めるまちづくりとの相乗効果を創出するために、広域的道路ネットワーク形成による連携強化が不可欠です。
〇 読書習慣を定着させるが、ご意見として承ります。



環境資源 部長

田中 俊平(無所属)
〇 25年度に事業対象を拡充したところで、すぐの対応は難しい状況ですが、ご意見として承ります。